

# ひょうごらくのうメモ

平成29年5月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名“さむそう” 赤松 恵麻 10才  
(洲本市)

目次 (第34回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向 (累計)
2	行事メモ 29年5月
3	計画生産推進一覧表《29年度4月》
4	用途別販売成績《29年度4月》
5	生乳検査実績速報《29年度4月》
6	淡路家畜市場情報《29年度4月》
7	隣県家畜市場情報《29年度4月》
8	北海道産牛価格情勢《29年度4月》
9	北海道乳牛産地情報《29年度4月》
10	牛群成績平均情報《29年度4月》
11	乳用牛改良情報《29年度4月》
12	輸入粗飼料の情勢《29年度4月》

# 酪農メモ

平成29年5月  
兵庫県酪農協

報告

## 1. 生乳生産量の動き（全国）・・・（平成29年4月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成29年 4月	616.7	97.8
平成29年 5月		
平成29年 6月		
平成29年 7月		
平成29年 8月		
平成29年 9月		
平成29年10月		
平成29年11月		
平成29年12月		
平成30年 1月		
平成30年 2月		
平成30年 3月		
平成29年度累計	616.7	97.8

## 2. 生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く）

（平成29年4月・前年より178.0トンの減、・9管内中3団体が前年より増加）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成29年 4月	7,179,451	97.6	94.7	279
平成29年 5月				
平成29年 6月				
平成29年 7月				
平成29年 8月				
平成29年 9月				
平成29年10月				
平成29年11月				
平成29年12月				
平成30年 1月				
平成30年 2月				
平成30年 3月				
平成29年度累計	7,179,451	97.6	94.7	279

## 3. 行事メモ <平成29年5月>

- ◆ 5月 9日 さんだ酪農部会総会（三田営農総合支援センター）
- ◆ 5月11日 平成28年度決算監査会
- ◆ 5月12日 役員推薦会議  
各地域の推薦委員10名により次期役員候補者の選出を頂きました。
- ◆ 5月22日 第1回理事会  
協議事項 1) 播州地域推薦委員選出会議について

- ◆ 5月25日 会計検査院農林水産第3課 実地検査受検  
各補助事業の書類・実績状況の検査を受け、指摘事項なく終了しました。
- ◆ 5月29日 近畿生乳販連理事会・販売委員会（京都市）
- ◆ 5月30日 第2回理事会  
報告事項 1) 平成29年度計画生産進捗状況について  
2) 平成28年度加工原料乳生産者交付金の支払いについて  
協議事項 1) 目的積立金基準の承認について  
2) 平成28年度事業報告及び収支決算について  
3) 平成29年度事業計画並びに収支予算について  
4) 兵庫県酪連権利義務に関する予備契約案の承認について  
5) 第2回通常総会の開催及び提出議案について  
6) 総会運営について  
7) 地区別懇談会の開催について  
8) 平成29年度借入金の最高限度について

#### 4. 行事予定<平成29年6月>

- 6月 6日 神戸北酪農部会 総会（北区）
- 8日 播州地域全体会議（小野市エクラ）
- 13日 役員推薦会議
- 14日 第3回理事会
- 19日 丹但地域地区別懇談会（和田山庁舎）
- 20日 神戸酪農ヘルパー利用組合通常総会（神戸西）
- 21日 淡路地域地区別懇談会（淡路島牧場）
- 22日 阪神地域地区別懇談会（神戸北）
- 23日 播州地域地区別懇談会（小野市エクラ）
- 26日 兵庫県酪農ヘルパー利用組合第2回総会（小野市エクラ）
- 29日 第2回通常総会（西神文化センター大ホール）

#### ● 6月精液配布コース予定日

13日西播コース 14日淡路コース 20日東播コース 27日丹波コース



平成29年度4月分計画生産推進一覧表

委託団体名	(単位:kg, %)									
	4月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比			
旧兵庫六甲農協管内	1,561,835.0	95.9	1,561,835.0	95.9	4月	7,179,451.0	97.6			
旧みのり農協管内	402,978.0	100.9	402,978.0	100.9	5月					
旧東播磨農協管内	1,741,554.0	95.9	1,741,554.0	95.9	6月					
旧西播磨農協管内	524,349.0	94.5	524,349.0	94.5	第1四半期	7,179,451.0	97.6			
旧たじま農協管内	55,301.0	93.8	55,301.0	93.8	7月					
旧北但路農協管内	192,180.0	87.1	192,180.0	87.1	8月					
旧兵庫丹但酪農協管内	477,311.0	100.4	477,311.0	100.4	9月					
旧淡路日の出農協管内	406,050.0	95.6	406,050.0	95.6	第2四半期	0.0				
旧淡路島酪農協管内	1,817,893.0	102.2	1,817,893.0	102.2	10月					
					11月					
					12月					
					第3四半期	0.0				
					1月					
					2月					
					3月					
合計	7,179,451.0	97.6	7,179,451.0	97.6	合計	0.0				

公共施設分		今年度 累計
委託団体名	4月分 生乳生産乳量	
兵庫六甲農協		
みのり農協		
東播磨農協	20,250.0	20,250.0
西播磨農協	3,994.0	3,994.0
たじま農協		
北但路農協		
兵庫丹但酪農協		
日の出農協		
淡路島酪農協	27,677.0	27,677.0
合計	51,921.0	51,921.0

公共施設含む		今年度 総乳量
4月分 総乳量		
1,561,835.0		1,561,835.0
402,978.0		402,978.0
1,761,804.0		1,761,804.0
528,943.0		528,943.0
55,301.0		55,301.0
192,180.0		192,180.0
477,311.0		477,311.0
406,050.0		406,050.0
1,845,570.0		1,845,570.0
7,231,372.0		7,231,372.0

公共施設含む		農家戸数	
4月1日	増減数	H29.4.1	前年対比
46	0	46	97.9%
15	0	15	93.8%
40	0	40	95.2%
13	0	13	100.0%
2	0	2	66.7%
11	0	11	91.7%
24	0	24	100.0%
21	0	21	87.5%
107	0	107	99.1%
279	0	279	96.5%

\*戸数参考:「個人別乳量報告に係る廃業者等報告書」



平成29年度4月用途別販売実績（速報）

平成29年5月16日  
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	4月		4-4月累計		指定団体	4月		4-4月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	312,818	97.8 (97.9)	312,818	97.8 (97.9)	北海道	312,818	97.8	312,818	97.8
青森	5,182	97.3	5,182	97.3					
岩手	16,603	96.6	16,603	96.6					
宮城	9,845	98.8	9,845	98.8					
秋田	2,224	94.7	2,224	94.7					
山形	5,339	96.6	5,339	96.6					
福島	5,833	95.9	5,833	95.9					
東北生乳販連	45,026	97.0	45,026	97.0	東北生乳販連	45,025	97.0	45,025	97.0
茨城	14,319	102.8	14,319	102.8					
栃木	27,852	99.7	27,852	99.7					
群馬	17,891	97.7	17,891	97.7					
埼玉	4,827	95.4	4,827	95.4					
千葉	18,126	97.7	18,126	97.7					
東京	862	95.0	862	95.0					
神奈川	3,163	93.0	3,163	93.0					
山梨	962	94.2	962	94.2					
静岡	7,513	98.8	7,513	98.8					
関東生乳販連	95,515	98.7	95,515	98.7	関東生乳販連	95,515	98.7	95,515	98.7
新潟	3,935	96.9	3,935	96.9					
富山	981	90.0	981	90.0					
石川	1,693	92.1	1,693	92.1					
福井	484	93.2	484	93.2					
北陸酪連	7,092	94.5	7,092	94.5	北陸酪連	7,092	94.5	7,092	94.5
長野	7,871	95.6	7,871	95.6					
岐阜	3,188	96.3	3,188	96.3					
愛知	15,489	96.4	15,489	96.4					
三重	4,623	100.3	4,623	100.3					
東海酪連	31,172	96.7	31,172	96.7	東海酪連	31,172	96.7	31,172	96.7
滋賀	1,627	97.6	1,627	97.6					
京都	1,659	90.3	1,659	90.3					
大阪	834	95.4	834	95.4					
兵庫	7,179	97.6	7,179	97.6					
奈良	2,086	95.0	2,086	95.0					
和歌山	444	98.8	444	98.8					
近畿生乳販連	13,829	96.2	13,829	96.2	近畿生乳販連	13,829	96.2	13,829	96.2
鳥取	4,752	99.4	4,752	99.4					
島根	5,497	96.6	5,497	96.6					
岡山	7,687	94.6	7,687	94.6					
広島	4,025	99.0	4,025	99.0					
山口	1,335	97.6	1,335	97.6					
中国生乳販連	23,295	96.9	23,295	96.9	中国生乳販連	23,295	96.9	23,295	96.9
徳島	2,757	100.0	2,757	100.0					
香川	3,066	99.4	3,066	99.4					
愛媛	2,418	94.2	2,418	94.2					
高知	1,897	97.3	1,897	97.3					
四国生乳販連	10,138	97.9	10,138	97.9					
福岡	6,718	96.9	6,718	96.9					
佐賀	1,267	91.8	1,267	91.8					
長崎	3,593	99.3	3,593	99.3					
熊本	21,465	102.1	21,465	102.1					
大分	6,177	97.0	6,177	97.0					
宮崎	6,863	97.0	6,863	97.0					
鹿児島	7,592	96.0	7,592	96.0					
九州生乳販連	53,675	98.9	53,675	98.9	九州生乳販連	53,675	98.9	53,675	98.9
都府県	279,744	97.8	279,744	97.8	都府県	279,743	97.8	279,743	97.8
合計	592,561	97.8 (97.9)	592,561	97.8 (97.9)	合計	592,560	97.8	592,560	97.8

注1) この速報は、キロ(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

注3) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

## 3) 飲用牛乳向

## 4) はっ酵乳等向

指定団体	4月		4-4月累計		指定団体	4月		4-4月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	57,186	-	57,186	-	北海道	1,567	-	1,567	-
東北生乳販連	31,581	-	31,581	-	東北生乳販連	7,394	-	7,394	-
関東生乳販連	70,380	-	70,380	-	関東生乳販連	13,355	-	13,355	-
北陸酪連	6,704	-	6,704	-	北陸酪連	271	-	271	-
東海酪連	25,110	-	25,110	-	東海酪連	4,419	-	4,419	-
近畿生乳販連	12,734	-	12,734	-	近畿生乳販連	855	-	855	-
中国生乳販連	16,822	-	16,822	-	中国生乳販連	4,898	-	4,898	-
四国生乳販連	9,689	-	9,689	-	四国生乳販連	329	-	329	-
九州生乳販連	34,538	-	34,538	-	九州生乳販連	7,550	-	7,550	-
都府県	207,557	-	207,557	-	都府県	39,071	-	39,071	-
合計	264,743	-	264,743	-	合計	40,638	-	40,638	-

## 5) 特定乳製品向け（脱脂粉乳・バター等向け）

## 6) 生クリーム等向け

指定団体	4月		4-4月累計		指定団体	4月		4-4月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	112,936	91.2	112,936	91.2	北海道	106,666	-	106,666	-
東北生乳販連	5,253	87.7	5,253	87.7	東北生乳販連	571	-	571	-
関東生乳販連	10,019	81.6	10,019	81.6	関東生乳販連	1,693	-	1,693	-
北陸酪連	64	95.6	64	95.6	北陸酪連	48	-	48	-
東海酪連	1,370	69.0	1,370	69.0	東海酪連	99	-	99	-
近畿生乳販連	154	83.6	154	83.6	近畿生乳販連	84	-	84	-
中国生乳販連	1,048	105.4	1,048	105.4	中国生乳販連	495	-	495	-
四国生乳販連	9	24.3	9	24.3	四国生乳販連	107	-	107	-
九州生乳販連	8,749	86.6	8,749	86.6	九州生乳販連	2,739	-	2,739	-
都府県	26,666	84.3	26,666	84.3	都府県	5,838	-	5,838	-
合計	139,602	89.8	139,602	89.8	合計	112,504	-	112,504	-

## 7) チーズ向け

## 8) 全乳哺育向け

指定団体	4月		4-4月累計		指定団体	4月		4-4月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	34,462	99.4	34,462	99.4	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	226	99.6	226	99.6	東北生乳販連	1	100.0	1	100.0
関東生乳販連	68	107.1	68	107.1	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	6	115.6	6	115.6	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	174	110.8	174	110.8	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	2	96.1	2	96.1	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	32	97.9	32	97.9	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	4	54.0	4	54.0	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	100	106.7	100	106.7	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	612	104.1	612	104.1	都府県	1	100.0	1	100.0
合計	35,074	99.5	35,074	99.5	合計	1	100.0	1	100.0

注1) この速報は、キロ(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 今年度から生クリーム等向けの定義が変わり、飲用牛乳・はっ酵乳等向けに移った数量がありデータに連続性がないため、それぞれの前年比は表示しておりません。

注3) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。



# 生乳検査実績速報

\*\*平成29年4月分\*\*

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.94%(前年同月+0.05%)、乳蛋白質率3.31%(前年同月比+0.01%)、無脂固形分率8.72%(前年同月比±0.00%)、体細胞数28.0万/ml(前年同月比+2.3万/ml)、細菌数10.1万/ml(前年同月比+3.0万/ml)であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

(単位:戸・%・万/ml)

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	46	46	3.92	3.99	3.27	3.31	8.65	8.69	30.5	26.9	20.2	13.5
播 州	68	70	3.94	3.99	3.33	3.39	8.75	8.79	31.2	29.9	6.0	7.9
丹 但	37	37	3.95	4.01	3.40	3.43	8.81	8.83	36.1	34.6	7.6	7.3
淡 路	124	125	3.94	4.03	3.29	3.34	8.71	8.76	23.0	24.4	9.5	4.1
県 平 均	275	278	3.94	4.01	3.31	3.36	8.72	8.76	28.0	27.6	10.1	7.0

## 『地域別乳質改善目標達成割合』

(単位:件・%)

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	136	83.1	75.0	44.9	57.4	83.1
播 州	204	85.3	84.8	65.2	47.1	84.8
丹 但	111	82.9	91.9	75.7	45.9	74.8
淡 路	372	85.5	71.8	54.3	68.8	90.9
県 平 均	823	84.7	78.3	58.3	58.4	85.9

## 『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

(単位:件・%・万/ml)

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵 庫 六 甲	136	3.92	83.1	3.27	75.0	8.65	44.9	30.5	57.4	20.2	83.1
み の り	45	3.90	84.4	3.34	86.7	8.74	71.1	38.3	40.0	11.0	68.9
東 播	120	3.91	80.8	3.31	83.3	8.73	59.2	31.0	41.7	5.0	87.5
西 播	39	4.08	100.0	3.40	87.2	8.81	76.9	23.4	71.8	3.1	94.9
北 但	33	3.97	97.0	3.41	100.0	8.85	90.9	36.0	51.5	10.2	66.7
兵 庫 丹 但	72	3.95	75.0	3.41	90.3	8.80	70.8	37.6	40.3	6.9	76.4
た じ ま	6	3.89	100.0	3.30	66.7	8.69	50.0	18.8	83.3	1.3	100.0
淡 路 日 の 出	60	3.88	86.7	3.28	71.7	8.72	51.7	28.2	61.7	3.0	96.7
淡 路 島	312	3.95	85.3	3.29	71.8	8.71	54.8	22.0	70.2	10.7	89.7
県 平 均	823	3.94	84.7	3.31	78.3	8.72	58.3	28.0	58.4	10.1	85.9



# 淡路家畜市場情報

平成29年4月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	26	239,469	292,680	1,080			55
前回	21	216,463		315,360	25,920			54	23,006	10.6%	
前年	35	232,601		275,400	159,840			55	6,868	3.0%	
オス	今回	17	300,939	366,120	194,400			55			
	前回	17	287,915	357,480	63,720			55	13,024	4.5%	
	前年	26	280,218	339,120	198,720			55	20,721	7.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	2	1,080		1,080	1,080			49	-1,080	-100.0%	
前年	1	70,200		70,200	70,200			51	-70,200	-100.0%	
オス	今回	17	74,838	128,280	5,400			53			
	前回	13	68,455	105,840	9,720			48	6,383	9.3%	
	前年	17	12,932	140,400	97,200			50	61,906	478.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は平成29年3月25日・前年は平成28年4月9日

平成29年4月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	19	249,821	321,840	111,240			56
前回	26	239,469		292,680	1,080			55	10,352	4.3%	
前年	22	267,791		304,560	206,280			56	-17,970	-6.7%	
オス	今回	19	273,581	393,120	111,240			56			
	前回	17	300,939	366,120	194,400			55	-27,358	-9.1%	
	前年	19	286,029	360,720	106,920			54	-12,448	-4.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	10	83,376	137,160	3,240			51			
	前回	17	74,838	128,280	5,400			53	8,538	11.4%	
	前年	12	117,540	164,160	65,880			55	-34,164	-29.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は平成29年4月9日・前年は平成28年4月25日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
28	1	76,548	90	91,636	158	111,080	27	112,142	9,709
	2	82,502	82	91,509	156	95,842	31	113,885	9,279
	3	98,757	102	102,968	185	102,004	29	113,158	10,264
	4	105,777	86	124,165	156	114,895	26	119,542	9,276
	5	116,872	70	128,958	111	128,179	19	135,924	9,004
	6	125,864	37	135,982	110	135,617	14	134,484	9,233
	7	105,962	62	133,011	133	160,007	13	116,795	9,572
	8	117,145	77	121,360	135	118,908	20	98,135	11,045
	9	96,317	77	103,858	182	89,843	32	87,204	10,264
	10	79,468	67	81,273	178	66,221	38	92,711	9,470
	11	95,481	93	97,150	150	98,490	36	99,112	9,719
	12	82,177	89	94,986	139	89,802	40	91,166	9,342
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
28	1	213,238	303	202,822	475	281,982	295	224,257	14,061
	2	214,273	342	209,469	444	271,354	276	229,554	13,772
	3	223,849	381	217,176	531	277,722	287	236,767	15,201
	4	253,843	323	255,633	430	308,423	260	250,058	13,264
	5	279,766	301	270,527	383	315,630	236	264,799	13,066
	6	294,349	209	287,045	450	340,358	233	281,350	12,717
	7	285,071	244	280,770	363	384,258	180	285,459	12,677
	8	277,388	276	280,096	391	339,831	193	270,947	14,607
	9	281,508	261	280,947	499	321,886	236	255,391	14,400
	10	266,688	314	264,337	403	304,279	273	247,866	14,005
	11	272,821	356	266,333	455	312,788	236	259,911	14,562
	12	263,578	334	261,791	473	320,622	306	264,140	14,274
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。



# 北海道産牛価格情勢

(平成29年5版)

## ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

29年4月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン十勝市場	6日	974,000円	775,000円	199,000	125.7%
ホクレン南北海道市場	7日	854,000円	760,000円	94,000	112.4%
ホクレン北見市場	7日	851,000円	600,000円	251,000	141.8%
ホクレン根室市場	13日	901,000円	726,000円	175,000	124.1%
ホクレン豊富市場	17日	933,000円	733,000円	200,000	127.3%
ホクレン釧路市場	18日	929,000円	711,000円	218,000	130.7%
ホクレン北見市場	19日	917,000円	738,000円	179,000	124.3%
ホクレン十勝市場	20日	973,000円	753,000円	220,000	129.2%
平均		939,000円	744,000円	195,000	126.2%

## 5月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン北見市場	8日	851,000円	684,000円
ホクレン十勝市場	9日	974,000円	745,000円
ホクレン南北海道市場	12日	854,000円	725,000円
ホクレン釧路市場	17日	929,000円	672,000円
ホクレン根室市場	18日	901,000円	667,000円
ホクレン豊富市場	19日	933,000円	640,000円
ホクレン十勝市場	24日	973,000円	695,000円
平均		939,000円	693,000円

## 6月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン北見市場	5日	649,000円
ホクレン十勝市場	6日	720,000円
ホクレン南北海道市場	9日	651,000円
ホクレン釧路市場	14日	673,000円
ホクレン根室市場	15日	702,000円
ホクレン豊富市場	16日	650,000円
平均		686,000円

兵庫県酪農協 購買課



# 北海道乳牛産地情報

(平成29年5月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	管内状況	概況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	横違い	札幌管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計91.4%、苫小牧管内月計で95.5%の実績となっております。
	初妊牛	9.0~9.5	横違い	5月の初妊牛動向といたしまして、7月~8月上旬分換予定の牛が中心となります。夏分焼腹となるため府県からの需要は落ち着いてくる時期となりますが、ここ数カ月分の初妊牛相場の高騰を受けて販売者の意識が高まっていることと、道内の他地区からの購買客が多くなっていることから初妊牛価格は横ばいで推移するものと思われ
	経産牛	5.0~5.5	横違い	ます。腹内容はF1腹の販売が大部分を占めるものと思われ
釧路管内	育成牛(10-12月令)	5.5~6.5	横違い	根釧管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で96.2%、中標津管内月計で98.7%の実績となっております。
	初妊牛	8.5~10.5	横違い	5月の初妊牛動向といたしまして、7月~8月分換予定の牛が中心となり取引されます。例年であれば相場が落ち着く時期ではありましたが、道内外の大型牧場の導入が引き続き風込まれる事から、相場は横這いで推移するものと思われ
	経産牛	5.5~6.5	横違い	ます。資源状況としてはF1腹が中心となります。需要の増えている選別精液腹については十分余裕があると思われ
帯広管内	育成牛(10-12月令)	5.5~6.5	横違い	帯広管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、月計で97.2%の実績となっております。
	初妊牛	9.0~10.0	やや弱含み	5月の初妊牛動向といたしまして、7月~8月分換の牛が中心で取引されます。管内の乳牛市場では道内外問わずメガ・ギガフアームの購買が続いており、夏分焼の初妊牛であっても引き合いは強く、相場は高値を維持し、若干の弱含みで推移するものと思われ
	経産牛	5.5~6.5	横違い	ます。腹別では府県の導入助成条件に後継牛確保を目的に、通常ホル腹もしくは選別精液腹が指定となっているものができているため、これらの相場は強含みで動くものと思われ
道北管内	育成牛(10-12月令)	5.5~6.5	横違い	道北管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.7%、北見管内では月計で98.7%の実績となっております。
	初妊牛	9.0~9.5	やや弱含み	5月の初妊牛動向といたしまして、7~8月分換中心となります。乳牛市場での相場動向をみますと、F1腹は勿論のことと、雌雄選別精液を含むホル腹の需要も高まっております。全国的に高値で推移していくものと思われ
	経産牛	5.5~6.5	やや弱含み	ます。これからの夏場に向かいますが、道内外の大型牧場の需要は引き続き強いと予想されます。全体的には、例年同様、7月分換までの需要は高く、8月分換以降の需要は、府県の暑熱による分挽事故も心配され減少傾向になるのではないかと考えられます。
道南管内	育成牛(10-12月令)	5.5~6.5	横違い	道内の4月中旬までの生乳生産量前年比は97.7%の実績となっております。
	初妊牛	9.0~10.0	横違い	5月の初妊牛動向といたしまして、7~8月分換予定の牛が中心となります。例年であれば都府県導入も減少し、生乳生産量が前年割れとなっており、道内においては、昨夏の台風被害の影響もあり、昨年度下期以降、導入意欲が依然として高い事から、初妊牛相場は横這いで推移するものと思われ
	経産牛	5.5~6.5	横違い	ます。5月下旬には放牧も始まる為、導入の予定がございましたら、早めの注文を宜しくお願いします。

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

年度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へ一報下さい。  
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたりよう購買のお手伝いを致します。  
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)  
 札幌支所  
 ☎011-241-0765  
 《各事務所電話番号》  
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

# 牛群成績平均情報 1

平成 29年 04月分

2017/05/09

64

兵庫

全 124 戸中 96 戸集計

年間累計	k g (1戸平均)	千円 (1戸平均)	生乳100kgに要した濃厚飼料費
乳量	34,590,206 (360,315)	3,685,867 (38,394)	2231円
前年対比	101 %	106 %	2231円
濃厚飼料	14,255,607 (148,496)	771,575 (8,037)	乳 21%
前年対比	102 %	102 %	21%
	乳代濃厚飼料費	2,914,292 (30,357)	飼料効果
		107 %	2.4

検定日成績 (1戸平均)	検定乳量	出荷乳量	濃厚飼料費	乳代	濃厚飼料費	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	1頭1日当たり平均	1kg単価
今月	1052kg	1032kg	423円	1136661円	22715円	3.93%	3.31%	8.77%	8.77%	111円
前月	1106kg	1094kg	453円	120173円	23730円	4.01%	3.37%	8.82%	8.82%	111円
3ヵ月	1097kg	1062kg	449円	119631円	23546円	4.05%	3.40%	8.85%	8.85%	112円
過去1ヵ年	988kg	970kg	406円	105259円	21951円	3.90%	3.33%	8.78%	8.78%	110円

前からの回数	検定からの発行までの日数
平均 31日	平均 9.0日

移動13ヵ月成績	牛				群				構				成						
	戸数	経産牛	搾乳牛	搾乳牛率	搾乳日数	搾乳日数	頭数	頭数	初産	雌	雄	乳量	乳量	乳量	乳量	乳量	乳量	乳量	乳量
4	115	5201 (45.2)	4617 (40.1)	91	226	206 (2.1)	66 (0.7)	100 (1.0)	102	32.6	28.5	3.97	3.31	8.77	11.4	0.83	11.7	濃厚飼料給与量	P/F比
5	114	5169 (45.3)	4484 (39.3)	90	234	169 (1.8)	69 (0.7)	80 (0.8)	102	33.0	28.7	3.85	3.29	8.76	11.6	0.86	11.8		
6	116	5247 (45.2)	4433 (38.2)	88	241	227 (2.4)	64 (0.7)	92 (1.0)	101	33.1	28.3	3.89	3.28	8.74	11.5	0.85	11.7		
7	116	5262 (45.4)	4419 (38.1)	86	240	326 (3.4)	97 (1.0)	166 (1.7)	100	32.8	27.6	3.84	3.25	8.71	10.9	0.85	11.6		
8	114	5189 (45.5)	4364 (38.3)	86	237	333 (3.5)	100 (1.0)	168 (1.8)	101	32.1	26.8	3.85	3.25	8.68	10.8	0.84	11.5		
9	114	5191 (45.5)	4316 (37.9)	86	235	320 (3.3)	96 (1.0)	173 (1.8)	101	33.0	27.5	3.84	3.30	8.73	10.3	0.86	11.6		
10	116	5291 (45.6)	4383 (37.8)	86	230	308 (3.2)	80 (0.8)	153 (1.6)	101	33.0	27.6	4.00	3.36	8.77	10.6	0.84	11.6		
11	117	5287 (45.2)	4400 (37.6)	86	222	374 (3.9)	102 (1.1)	197 (2.1)	102	33.2	28.2	4.06	3.41	8.84	11.0	0.84	11.6		
12	119	5364 (45.1)	4490 (37.7)	87	215	318 (3.3)	87 (0.9)	157 (1.6)	101	33.1	28.4	4.09	3.40	8.84	10.7	0.83	11.6		
1	112	5044 (45.0)	4264 (38.1)	87	214	298 (3.1)	83 (0.9)	143 (1.5)	102	33.1	28.7	4.05	3.42	8.87	10.6	0.84	11.7		
2	114	5081 (44.6)	4326 (37.9)	88	213	257 (2.7)	79 (0.8)	121 (1.3)	101	32.8	28.7	4.08	3.41	8.86	11.1	0.83	11.8		
3	111	4865 (43.8)	4242 (38.2)	89	221	265 (2.8)	81 (0.8)	130 (1.4)	101	33.1	28.9	4.01	3.37	8.82	11.5	0.84	11.9		
4	96	3954 (41.2)	3513 (36.6)	90	229	95 (1.0)	32 (0.3)	47 (0.5)	102	33.0	28.8	3.93	3.31	8.77	11.7	0.84	11.6		
平均・計	96	3888 (40.5)	3433 (35.8)	88	230	3401 (35.4)	1004 (10.5)	1680 (17.5)	102	32.6	27.8	3.90	3.33	8.78	11.3	0.85	11.4		
前年成績	95	3873 (40.8)	3408 (35.9)	87	223	3493 (36.4)	1114 (11.6)	1667 (17.4)	101	32.1	27.5	3.87	3.32	8.78	11.7	0.86	11.2		

0内は、1戸平均。

検定日乳階	1 産				2 産				3 産				4 産			
	21日以上	50日	100日	200日	21日以下	50日	100日	200日	21日以上	50日	100日	200日	21日以下	50日	100日	200日
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	.1	.1	.1	.1	.2	.3	.2	.2	.4	.5	.4	.4	.2	.3	.2	.2
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	.1	.2	.3	.1	.3	1.1	2.7	.5	.2	1.1	1.1	.1	.3	1.1	2.7	.5
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	.1	.3	.6	.6	.6	2.2	3.7	1.4	.6	2.2	3.7	1.4	.2	.6	2.2	3.7
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	.3	.6	1.3	2.2	.4	.7	1.3	4.8	.4	.7	1.3	4.8	3.5	.7	.7	.7
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	.3	.6	1.1	2.4	.3	.5	1.0	4.0	.3	.5	1.0	4.0	4.6	.2	.2	.2
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	.2	.2	.3	1.2	.2	.2	.3	2.0	.2	.2	.3	2.0	3.8	.3	.3	.3
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	.1	.1	.1	.8	.1	.1	.1	.8	.1	.1	.1	.8	1.9	.4	.4	.4
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	.1	.1	.1	.1	.1	.1	.1	.3	.1	.1	.1	.3	1.1	.4	.4	.4
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	35	69	129	283	278	298	76	161	318	702	595	569				
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	33.6	32.5	32.7	33.5	35.2	32.8	31.9	32.6	31.8	32.8	33.4	32.6				
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	27.9	30.7	31.5	29.6	27.3	21.4	34.6	39.8	38.6	33.2	26.5	19.6				
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	4.19	3.58	3.62	3.67	3.97	4.36	4.86	3.89	3.72	3.78	3.98	4.26				
MAX:30.2 DAY:68 MID:28.6 LP:96.3	3.27	2.94	2.99	3.24	3.44	3.76	3.29	2.91	2.99	3.21	3.45	3.77				
MAX:35.9 DAY:83 MID:30.7 LP:91.4	8.77	8.55	8.55	8.79	8.99	9.26	8.79	8.42	8.48	8.65	8.85	9.10				
M U N m g / d l	11.6	11.3	12.5	12.5	11.7	11.6	9.5	10.5	11.4	12.0	11.6	11.7				
濃厚飼料給与量	10.7	10.9	11.9	11.7	11.5	10.6	10.8	12.1	12.4	12.3	11.5	10.7				
B C 管理	3.13	3.00	3.18	2.89	3.03	3.28	3.56	3.00	3.03	2.94	3.20	3.30				

参考情報(MW:ヒート期量%, DW:泌乳ピークに要した日数(日), MD:分娩後10日乳量%, IP:泌乳持続性)

搾乳管理	
ユニット	4.5台
1回平均	92分
1頭平均	11分
1回目	48%
2回目	52%

搾乳管理は、2回搾乳農家で集計

搾乳管理	
未経産	5
1産	686
2産	563
3産	825
乾乳	36

240~305日間成績	
乳量	8420
乳脂率	3.80
蛋白質率	3.25
無脂固形分率	8.81
乳量	9348
乳脂率	3.82
蛋白質率	3.27
無脂固形分率	8.75
乳量	9599
乳脂率	3.84
蛋白質率	3.21
無脂固形分率	8.62
乳量	9090
乳脂率	3.82
蛋白質率	3.24
無脂固形分率	8.72

305日成績	
1産	1087
2産	826
3産以上	1008
平均又は合計	2921

検定日牛群構成	
年齢	未経産牛
1-6歳	1-6歳
7-9歳	7-9歳
10-12歳	10-12歳
13歳以上	13歳以上
比率	3954頭
(未経産牛含む)	(4339頭)







NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

総合指数順 ( N T P )

《2017-2》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種値)						体型のEBV				血統情報		管理形質			
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と 骨格	肢蹄	乳用 強度 性	体細 胞入り 了	交牛	母系祖父	産子数基準	在群期間	産乳持続性
A	1	JP4H55951	ティエーレデイスナー ジョージア	64,976	132,133	2,721	1,304	65	0.14	119	0.03	49	0.08	0.35	0.96	0.73	0.92	1.00	2.43	6	100	0.93
A	2	JP3H55926	ウインザナナ SW ナイクラ ET	94,060	169,863	2,664	1,736	72	0.05	155	0.03	49	-0.05	0.56	-0.30	0.22	0.30	0.42	2.31	6	102	-0.40
A	3	JP5H55552	サンワード スパニール エモンジョン ET	115,750	130,445	2,484	1,326	55	0.05	127	0.03	43	0.01	-0.02	0.71	0.65	0.88	0.75	1.64	6	102	1.39
A	4	JP3H55953	レイバー ナイクラ ハリッシュ ET	67,963	102,603	2,241	981	41	0.05	105	0.16	41	0.10	0.52	0.09	0.53	1.47	0.97	1.83	6	100	0.30
A	5	JP3H55839	ティエーナイト エリアス ET	104,836	135,510	2,236	1,486	22	-0.34	145	0.18	48	0.02	0.51	0.32	0.32	1.19	1.04	1.45	7	103	-1.09
A	6	JP2H56211	NLBC ハルサ ハックス	59,577	116,313	2,178	1,227	37	-0.10	117	0.07	51	0.12	-0.39	0.02	-0.56	0.58	0.32	2.11	6	101	-0.30
A	8	JP5H55723	モマ プリク ET	36,216	162,517	2,098	1,742	61	-0.06	142	-0.04	51	-0.05	-0.24	-0.75	-0.23	0.21	-0.31	2.88	8	100	1.78
A	9	JP4H54859	モトラップ ゴールデン ボルトン ET	74,597	27,864	2,055	-154	74	0.88	14	0.29	25	0.34	-0.13	-0.21	-0.24	0.71	0.19	2.58	12	102	0.15
A	11	JP5H55230	エラルト エーガー RCA ミステイ ET	96,327	88,587	1,978	836	39	0.06	84	0.15	44	0.18	0.10	0.17	-0.33	0.50	0.42	1.92	7	102	0.00
A	13	JP3H55731	ケネランド プラット ユツ ET	47,871	111,186	1,964	1,130	41	-0.02	108	0.09	50	0.15	-0.27	0.05	-0.17	-0.24	-0.36	2.58	6	101	0.76
A	14	JP3H55992	ライジング サン サマー ソニック ET	21,023	89,461	1,959	866	48	0.15	70	0.01	36	0.10	0.57	0.39	1.15	0.82	0.81	2.63	7	99	0.05
A	15	JP5H55389	リトル プラネット シュークリン ET	26,032	105,918	1,955	1,058	29	-0.12	114	0.23	47	0.14	1.32	-0.17	1.58	0.96	1.05	2.12	7	99	-0.84
A	16	JP3H55079	マックス トリー ニルコ ET	62,256	62,935	1,954	458	44	0.28	64	0.21	33	0.19	0.63	0.19	-0.13	0.71	0.68	1.88	5	100	0.58
A	18	JP5H55782	リバーサイド グレイブ ET	76,030	56,907	1,898	472	30	0.14	53	0.16	25	0.10	1.64	1.27	0.97	1.28	1.65	1.94	7	101	1.04
A	19	JP2H56023	NLBC フロント リリス	35,656	72,833	1,855	628	31	0.09	75	0.23	38	0.18	0.93	0.63	1.33	0.79	1.02	1.97	6	99	0.61
A	20	JP3H54722	SP プラントイ ハックス ET	72,030	69,243	1,852	451	58	0.42	64	0.25	32	0.18	-0.07	0.17	-0.30	0.58	0.36	2.78	8	102	1.34
A	21	JP4H56017	グリーンハイット ロードスター ET	60,622	106,375	1,823	1,158	35	-0.09	103	-0.02	38	0.01	0.53	-0.66	-0.10	1.44	0.44	2.63	5	101	1.30
A	23	JP5H55950	ティエーレデイスナー ジェイド ET	93,545	121,109	1,805	1,357	39	-0.13	112	-0.08	33	-0.10	0.56	0.92	0.58	0.47	0.86	2.22	6	101	1.33
A	24	JP5H55816	ヘンガレン スパニール ジェイド	69,660	122,262	1,805	1,464	23	-0.32	114	-0.10	38	-0.09	0.72	0.44	0.93	0.74	0.89	1.86	7	101	0.89
A	25	JP3H55056	モニグビュー SHTL ヴァンテス ET	96,474	123,527	1,798	1,482	27	-0.30	117	-0.13	35	-0.13	0.43	0.54	0.42	0.93	0.82	1.48	7	102	1.73
A	26	JP0H55536	NLBC ベリグレス オゾン ET	30,839	42,324	1,782	255	29	0.21	50	0.26	29	0.22	1.68	0.45	1.78	1.09	1.57	2.00	13	100	1.00
A	28	JP4H55789	ケネランド テンブリス プレイン	59,219	92,217	1,741	903	36	0.02	89	0.12	34	0.05	-1.42	-0.29	-0.77	0.09	-0.40	1.43	6	101	0.96
A	30	JP5H55329	イーグルビル PN ラストヨ ET	58,643	86,910	1,722	827	34	0.02	90	0.17	36	0.08	0.63	0.11	0.18	0.55	0.50	2.19	6	100	0.16
A	31	JP5H55845	ビュアソール ナイトブリー マークス ET	53,423	84,032	1,721	800	37	0.07	75	0.12	33	0.07	0.38	0.08	0.54	-0.01	0.13	2.13	6	101	-0.24

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の遅いもの) C: 制限配布(少量入荷が続いているもの) D: 制限配布(非常に少量入荷でできないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの  
牛白血球粘着性欠如症(EL)及び牛複合骨髄形成不全症(GV)は掲載牛全頭検査済みで、原因牛については、掲載牛全頭検査済みの後に\*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

《2月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

総合指数順 ( N T P ) 《2017-2》

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

供給 種易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種価)						体型のEBV				血統情報		管理形質					
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄 強度	乳用強 健性	乳器	決定 得点	体細胞 入コア	父牛	母系祖父	産子 数産率	在群期間 乳持続性	
?	7	JP3H56137	ケネカランド ベンナー ベル スカイET	97,944	112,696	2,145	1,264	28	-0.22	113	0.02	41	-0.01	0.72	1.41	0.89	1.26	1.56	2.24	7/17	x ジェツクスハイム	7	101	1.76
?	10	JP5H55879	ヘンカンソン CCM ヴェラー	39,972	114,868	2,006	1,177	57	0.11	93	-0.06	36	-0.02	1.96	0.65	1.40	0.40	1.12	2.48	7/17	x 畑マシ	7	100	1.75
?	12	JP5H55973	ストリテア エヴァン	75,102	88,226	1,968	849	39	0.07	84	0.10	32	0.04	0.42	0.80	0.10	0.88	0.94	2.11	ビコウ	x オーマ	6	101	1.56
?	17	JP3H56115	ビュアワウル ロオ ハツオ	49,082	78,268	1,928	631	34	0.10	86	0.35	38	0.18	0.17	0.56	0.14	0.66	0.56	2.52	ドヘルマン	x フラネット	6	101	0.87
?	22	JP3H55978	ブレイン ミツチー フラックヒル ET	56,012	73,478	1,806	721	36	0.10	56	0.01	27	0.05	0.82	0.21	0.54	1.22	1.01	1.65	ヒル	x ヨーランドウシ	6	101	0.43
?	27	JP3H56101	EL ヴェイルド ヒル	94,415	53,430	1,747	529	25	0.07	46	0.00	27	0.12	-0.42	0.67	-0.67	1.20	0.70	1.59	ヒル	x ミスターハーツ	6	103	0.54
?	29	JP2H56228	NLBC ナビゲート エマート	34,866	81,055	1,738	684	43	0.20	76	0.19	31	0.09	0.70	-0.18	0.43	0.98	0.82	2.21	スパー	x フラッド	6	100	0.05
				79,240	1,749	744	40	0.23	71	0.19	31	0.17	0.50	0.42	0.34	0.85	0.76	2.13						

入手 難易 度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の少ないもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの  
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合脊椎形成不全症(GV)は掲載牛全頭陰性。プラキスバイナ(BY)については、掲載牛全頭検査済みで、保固牛については名号の後に\*BYGと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】



# ～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

米国ホルスタイン協会  
《2017-4》

## T P I 順

供給 難易度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	信頼度				体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度		
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	信頼度	父牛		母系祖父	
D	1	7H012165	ハコンヒル モトロス ET	TR TP	2,744	83	-0.16	83	-0.02	98	3.05	4.6	2.24	1.60	1.87	96	モーグル × ホルトン	6.8	
A	2	7H012266	ウットグレスト モーグル ヨダ ET	TR TP	2,673	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル × フラネット	6.0	
B	3	7H011352	シーガルバレイ スーパースァイア ET	TR TP	2,603	98	0.16	64	0.00	99	2.84	6.6	1.02	0.49	0.02	99	ロバスト × フラネット	7.2	
A	4	200H02792	サンデイーハレー サルーン ET	TR TY	2,599	83	0.04	71	0.06	98	3.03	1.1	2.85	1.60	1.43	97	アイト × フラネット	9.4	
A	5	7H012105	S-S-I モーグル リフレクター	TR TP	2,590	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル × スーパ-	8.0	
A	6	7H012198	モーニングビュー MCC キングホーイ ET	TR TP	2,567	44	-0.04	40	0.00	98	2.69	4.5	3.28	2.61	1.92	94	マッカラン × スーパ-	8.2	
A	7	7H011752	ロレーン ブックム ホブ 5170 ET	TR TP	2,564	65	0.26	50	0.34	98	2.99	4.5	1.89	1.69	0.99	95	ブックム × オーマン	6.7	
A	8	7H011708	テスルーキー 11057 ET	TR TP	2,555	1,043	76	0.30	42	0.08	95	2.73	6.0	1.77	1.31	1.06	92	ブックム × フラネット	5.8
B	8	1H011022	S-S-I スノーマン メイフラワー ET	TV TL	2,555	2,347	52	-0.26	73	0.00	2.77	5.6	1.02	0.47	1.29	94	スノーマン × ヨウタス	7.0	
A	10	7H011383	S-S-I スノーマン モーガン ET	TR TP	2,552	1,384	59	0.04	48	0.04	99	2.81	7.0	1.55	1.14	0.94	97	ブックム × ヨトル	7.4

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

【管理形質の見方について】

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。

潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が運動性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。



# ～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

## GLPI 順

カナディアン デイリー ネットワーク  
《2017-4》

供給 難易	LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV				血統情報		管理形質 分娩能力
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用強 健性	尻	父牛	
	2	200H3910	コムスター ロートラスト	3,330	1,637	86	0.2	76	0.17	2.90	88	14	13	14	7	11	スーダン × マンロー	100
	3	250H1043	ジェニベック アイクマン RC	3,237	1,360	111	0.53	76	0.25	2.65	92	7	7	6	7	-2	スローマン × ハウスター	106
	4	250H6480	バルビツントアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99	16	13	11	16	3	フックム × シトル	99
	5	7H12111	ミスター OCD エピックドラゴンハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89	12	13	6	1	8	エピック × フラネット	105
	6	7H12026	デース MGL グリーンウエイ 11396 ET	3,206	2,224	99	0.13	84	0.09	2.83	87	9	7	8	8	2	モーグル × フラネット	107
	7	7H11314	マウントアールド SSI DCY モーグル ET	3,201	1,535	102	0.39	59	0.07	2.91	98	13	13	12	5	2	トロニー マーシュ	105
	1	250H1009	メイプルウッド ブリュエーマスター	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93	8	6	5	8	9	キレット × シトル	102
	8	250H12128	ギルガー モーグル ソロー ET	3,126	1,566	65	0.05	52	0.01	2.80	87	14	11	14	8	6	モーグル ドメイン	104
	9	250H1109	スタントンス カマロ	3,105	654	84	0.57	51	0.25	2.89	86	10	7	10	5	6	エピック × フレディー	107
	10	200H10362	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86	12	13	7	9	-3	マッカエン × オブザーバー	99

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の激しいもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。  
難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。  
分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。  
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。  
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となりま

# ～ 乳用牛改良情報(ホル♀) ～

©国内における精液供給可能な検定済種雄牛

総合指数順 ( N T P )

《2017-2》

兵庫県農協 生産指導部 購買課

NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命運産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定音種価)				体型のEBV				血統情報		産子産 スコア	備考				
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄	乳用強 値性			乳器	決定 得点	父牛	母系祖父
3	JP5H55552X	サンワード スーパー エモーション ET	115,750	130,445	2,484	1,326	55	0.05	127	0.03	43	0.01	-0.02	0.71	0.65	0.88	0.75	スーパー	バクスター	6	
4	JP3H55953X	レイバー ナイアグラ パリッシュ ET	67,963	102,603	2,241	981	41	0.05	105	0.16	41	0.10	9.00	0.09	0.53	1.47	0.97	ナイアグラ	ジェットストリーム	6	
5	JP3H55839X	ティユー ナイト エクリプス ET	104,836	135,510	2,236	1,486	22	-0.34	145	0.18	48	0.02	0.51	0.32	0.32	1.19	1.04	ナイアグラ	ショトル	7	
10	JP5H55879X	ヘンカシー CCM ヴェラーノ	39,972	114,868	2,006	1,177	57	0.11	93	-0.06	36	-0.02	1.96	0.65	1.40	0.40	1.12	アイアーン	ゴードルポイン	7	
13	JP3H55731X	ケネカランド プラット ユップ ET	47,871	47,871	1,964	1,130	41	-0.02	108	0.09	50	0.15	-0.27	0.05	-0.17	-0.24	-0.36	プラネット	ショトル	6	
14	JP3H55389X	ライジング サマー ソニック ET	21,023	21,023	1,959	866	48	0.15	70	0.01	36	0.10	0.57	0.39	1.15	0.82	0.81	ビーコン	バクスター	7	
15	JP5H55978X	リリーヒル プラネット シュークリン ET	26,032	26,032	1,955	1,058	29	-0.12	114	0.23	47	0.14	1.32	-0.17	1.58	0.96	1.05	プラネット	オーマン	7	
22	JP3H55056X	ブレイン ミッチー ブラックヒル ET	58,012	58,012	1,806	721	36	0.10	0.01	0.01	27	0.05	0.82	0.21	0.54	1.22	0.43	ヒル	ランズロット	6	
23	JP5H56101X	ティユー レディスマナー ジェイド ET	93,545	93,545	1,805	1,357	39	-0.08	39	-0.08	33	-0.10	0.56	0.92	0.58	0.47	0.86	フレディ	タイタニック	6	
23	JP5H55816X	ヘンカシー スーパー レジエンド	69,660	122,262	1,805	1,464	23	-0.32	114	0.01	38	-0.09	0.72	0.44	0.93	0.74	0.89	スーパー	バクスター	7	

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。



これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

# ～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

米国ホルスタイン協会  
《2017-4》

T P I

◎兵庫県において精液供給可能な(129年4月現在)輸入検定済種雄牛(アメリカ)

略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信頼度	体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報 父牛 × 母系祖父	分娩 難易 度	備考	
											体型	乳器	四肢				信頼度
507H12165	ペーコンヒル モントロス ET	2,771	2,689	85	-0.12	80	0.00	96	3.03	4.9	2.36	1.78	2.02	92	モ-ガル × ホルシ	7.1	
507H12266	ウットグレスト モーグル ヨダー ET	2,673	1,373	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モ-グル × プラネット	6.0	
507H11351	シーガル ベイ スーパーサイアー ET	2,644	2,090	99	0.16	64	0.00	99	2.86	6.3	1.18	0.58	0.22	99	ロハスト × プラネット	7.3	
507H12105	S-S-I モーグル リフレクター	2,590	1,428	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モ-グル スーパー	8.0	
507H12198	モーニングビュー MCC キングボーイ	2,555	1,199	44	-0.06	41	0.00	92	2.77	4.3	3.16	2.69	2.36	88	マカチン × スーパー	8.1	
507H11708	デスールキー 11057 ET	2,574	1,093	80	0.30	43	0.08	95	2.76	5.7	1.79	1.33	1.12	92	ブツム プロコ	5.7	
507H11621	S-S-I スノーマン メイフラワー ET	2,609	2,393	52	-0.28	74	0.02	98	2.79	5.5	1.07	0.64	1.38	93	スノーマン × ヴラフス	7.1	
507H11383	S-S-I ブックム モーガン ET	2,566	1,360	54	0.04	46	0.06	99	2.85	7.3	1.65	1.25	0.99	97	ブツム × ショトル	7.3	
507H 11585	サンデイハレー スターリング ET	2,506	1,801	50	-0.14	56	0.00	99	3.16	6.1	2.12	1.20	1.33	98	ロハスト × プラネット	6.7	
507H11525	ミスター OCD ロハスト トナテロ ET	2,495	1,036	66	0.22	43	0.10	99	2.88	5.6	1.1	1.10	0.69	97	ロハスト × プラネット	5.9	
507H11314	マウントマイルド SSI DCY モーグル	2,494	1,147	73	0.12	36	0.02	99	2.98	4.3	2.3	2.48	2.42	99	トロー × マーユ	6.0	
507H12014	デスー MG タビッチ 11288 ET	2,491	740	71	0.34	43	0.16	96	2.81	4.6	2.14	2.29	1.96	94	モーグル ヴラフ	7.0	
507H11419	シーガル ベイ ハットライナー ET	2,472	1,731	70	0.04	60	0.06	99	3.19	2.1	2.34	1.58	1.97	99	ロハスト × プラネット	7.7	
507H12139	シーマーズ モーグル ペティー ET	2,457	1,198	48	0.02	41	0.04	96	2.96	4.5	2.74	2.86	1.72	91	モーグル エクスプロー	6.4	
507H11169	ウエルカム スーパー ベトロシ ET	2,397	498	35	0.14	8	-0.06	99	2.63	7.2	1.12	1.42	1.18	99	スーパー × ハウス	6.8	

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。

分娩難易度の評価値については、産牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の

相関関係が確認されています。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するように心掛けてください。

潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を待つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。  
 ～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

©兵庫県において精液供給可能な(H29年4月現在)検定済種雄牛(カナダ)

Canadian Dairy Network  
 《2017-4》

L P I 順

略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV				血統情報		分娩能力	備考
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用 強健 性	尻	父牛		
777H6480	ハルビツゾン トアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99%	16	13	11	16	3	ブツム × ショトル	99	
507H1211	ミスター OCD エビック トロコハンハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89%	12	13	6	1	8	エビック × ブツネット	105	
550H1009	メープル ウート ブルーマスター ET	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93%	8	6	5	8	9	ガレット × ショトル	102	
777H10362	スタントンス キヤピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86%	12	13	7	9	-3	マツカセン オブザーバー	99	
777H6551	ビューソール フレイム ET	3,021	-515	96	1.16	28	0.39	2.99	87%	9	7	10	5	3	ヌメロノ × フレディ	100	
777H3829	JK エター I コントロール	3,016	921	15	-0.16	44	0.11	2.67	95%	15	9	14	11	12	スーマン × ホルン	98	
559H1066	ジェナバーションス ビッグ カフナ	3,011	2,106	71	-0.05	73	0.03	2.84	87%	8	10	2	7	3	エビック ホルン	105	
777H3864	ジレット ミスター ショゾン	3,009	2,288	45	-0.35	66	-0.07	2.76	91%	13	11	13	8	4	スーマン ゴールドウイン	104	
550H1002	ジェナバーションス エビック	2,905	1,480	41	-0.11	51	0.02	2.84	99%	10	9	7	5	7	スーバー ハクスター	104	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。  
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。  
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の  
 相関関係が確認されています。  
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。  
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。



## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所管内  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

海運アライアンス再編による新航路のサービスが4月よりスタートしました。日本向けの寄港地が減るアライアンスに加盟する船社は、日本へ寄港する航路が多い、別のアライアンスからスペースを確保するなどして、今のところ改編前と大きく変わらないサービスで対応しています。新たな航路においては、次々と大型船が投入されてきており、北米からアジアの主要港を回る航路などでは早くも貨物スペースが埋まるのかどうか心配する声も聞こえてきています。また、豪州航路でも航路の再編が行われており、寄航回数の減少を大型船で補う北米航路と同じ構図になりつつあります。

上記の通り、各航路において、大型船の投入が増えていますが、日本に寄港できる最大の本船サイズは13,000TEU（20フィートコンテナで13,000個搭載可能）となっており、20,000TEU級の大きな船舶は日本に寄港していません。これは日本の各港の岸壁水深が大型船舶を受け入れるだけの十分な深さがなく、これが最も大きな要因と言われています。今後さらにコンテナ本船の大型化が進むと、日本の各港への寄港が減り、長期的には海上運賃の競争力が低下する懸念もあります。

### ビートパルプ

<米国産>

2016年産の製糖及びペレット生産は間もなく終了の予定です。既報の通り、シーズン当初の見込みに比べて、ペレットの生産量は大幅な下方修正となっています。2か月ほど前には既に10%を超える大きな減少となっていました。その後春先の温暖な気候のために廃棄せざるを得ない原料大根も発生しており、減産幅は更に大きくなっている模様です。このため米国産の供給余力は一気に弱まることとなり、米国産を主力とする日本市場への影響も懸念されます。

新穀については、4月初旬よりミシガン州、アイダホ州、中旬より日本向けの主力産地であるミネソタ州、ノースダコタ州で新穀の作付が始まりました。ミシガン州、ミネソタ州などの北部の地域では降雨が多く、昨年と同時期に比べ20-30%程度の作付の進捗となっており、今後の動向が注目されるところです。

## アルファルファ

### ワシントン州

今冬は非常に寒いシーズンとなりました。主産地コロンビアベースンでは、ようやく気温が15℃を超え、春らしくなってきました。このため、アルファルファの生育は、温暖な気候により過去にないほど早かった昨年と比較すると、2～3週間程遅れています。1番刈の収穫は、例年並みから例年よりもやや遅い5月中旬以降から本格的にスタートする見込みです。

産地の在庫の状況は、ほぼ成約済みで余剰はないようです。厳冬の影響で肉牛用の自給粗飼料が不足し、冬期間に肉牛向け低級品の出荷が例年以上に多くなったことに加え、豪雪や雪解けの影響により、生産農家で保管している在庫に浸水のダメージが発生していることが主な要因で、さらには堅調な中国向けの出荷も余剰在庫の少なさに拍車をかけているようです。

作付面積については、既報の通り16年産のアルファルファ相場の低迷の影響もあり、前年並みからやや減少するものと見込まれております。産地価格については、カリフォルニア州南部の新穀の相場上昇を受けて、特に上級品において昨年よりも強含みで取引が開始されると多くのサプライヤーが予想しています。



(4月下旬 コロンビアベースン南部 アルファルファ1番刈り生育状況)

### オレゴン州

南部クラマスフォールズにおいても、他地域と同様、厳冬の影響を受けて昨年よりもアルファルファの生育は2週間程遅れていますが、例年並みかやや遅い、6月上旬から中旬にかけて収穫が開始される見込みです。作付面積については、ほぼ横ばいから微増と予想されています。



中部クリスマスバレーも生育は昨年よりも遅れ気味です。1番刈の収穫は例年よりやや遅い6月中旬頃から始まる見込みです。当地域の作付面積に大きな変動はなく、昨年並みとなっていますが、堅調な中国向け需要や国内需要向けとして、ビックベールによる生産が近年増え続けており、スモールベールの生産が減少しています。

#### ネバダ州

今冬は例年よりも降雨が多く、山間部への積雪が多かったことから近年続いていた水不足の懸念は解消されています。当地域では見た目がきれいな緑目のアルファルファが多く生産されるため、このような品質を求める中国向けに引き続き堅調な引き合いが見込まれています。

#### カリフォルニア州

南部インペリアルバレーでは2番刈の収穫が進んでいます。米国乳価が徐々に回復の兆しを見せており、米国内の酪農家からの需要が増加していること、および中国、中東からの需要も引き続き堅調なことから、17年産の新穀価格は前年の同時期に比べ高値で相場が形成されつつあります。特に、高成分品に対する米国内酪農家からの引き合いは引き続き旺盛となっており、他産地や他地域の新穀価格にも波及する可能性があります。

北部カリフォルニアにおいては、4月下旬から1番刈の収穫作業が開始されています。作付面積はナッツ類への転作によって減少していますが、冬期に降雨が多かったことから近年続いた水不足が解消し、生産数量自体は大きく減ることはないと思われれます。

#### 米国産チモシー

16年産の産地在庫はほぼ成約済となっており、多くの需要家は新穀待ちの状況となっています。17年産は価格相場の回復を予想し、ワシントン州、オレゴン州、アイダホ州の各生産地では5~10%程度作付が増えているようです。

産地価格については、旧穀の在庫がないことから新穀スタート時には昨年比で値上がり確実とされています。しかしながら、過去にも見られたように、価格の高騰は需要の冷え込みを引き起こし、在庫過多となり、いずれ価格下落を招く可能性があることから、慎重に相場形成が進むものと思われれます。

今年は春先から冷涼な天候となっていますが、コロンビアベースンの多くの圃場では、例年並みの6月中旬から下旬に刈り取りスタートになると見込まれています。同様に、エレンスバーグ地域でも現時点では例年並みの収穫スケジュールで進むと思われ、7月上旬に刈り取りが開始される見込みです。



ワシントン州 チモシー圃場 4月下旬撮影

## カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジでは旧穀の出荷は順調に推移し、2番刈りに関しても国内の酪農・畜産農家からの引き合いが強く、チモシーの生産農家は17年産の作付に関して、前向きな姿勢を示しています。

一方、アルバータ州中部クレモナ地区は16年産では後継者不足から廃業が相次ぎ、作付けが減少しました。しかしながら、競合する作物等の価格は依然として相場が芳しくないため、このまま他の作物価格の低迷が続けばチモシーの作付は大きく変動しない可能性もあります。

## スーダングラス

スーダングラスの17年産作付面積は5月1日時点で、約33,500エーカーと昨年同時期を上回る作付けとなっています。当初は作付面積の減少が懸念されていましたが、多くのサプライヤーが昨年並みの作付面積に落ち着くと予想しています。

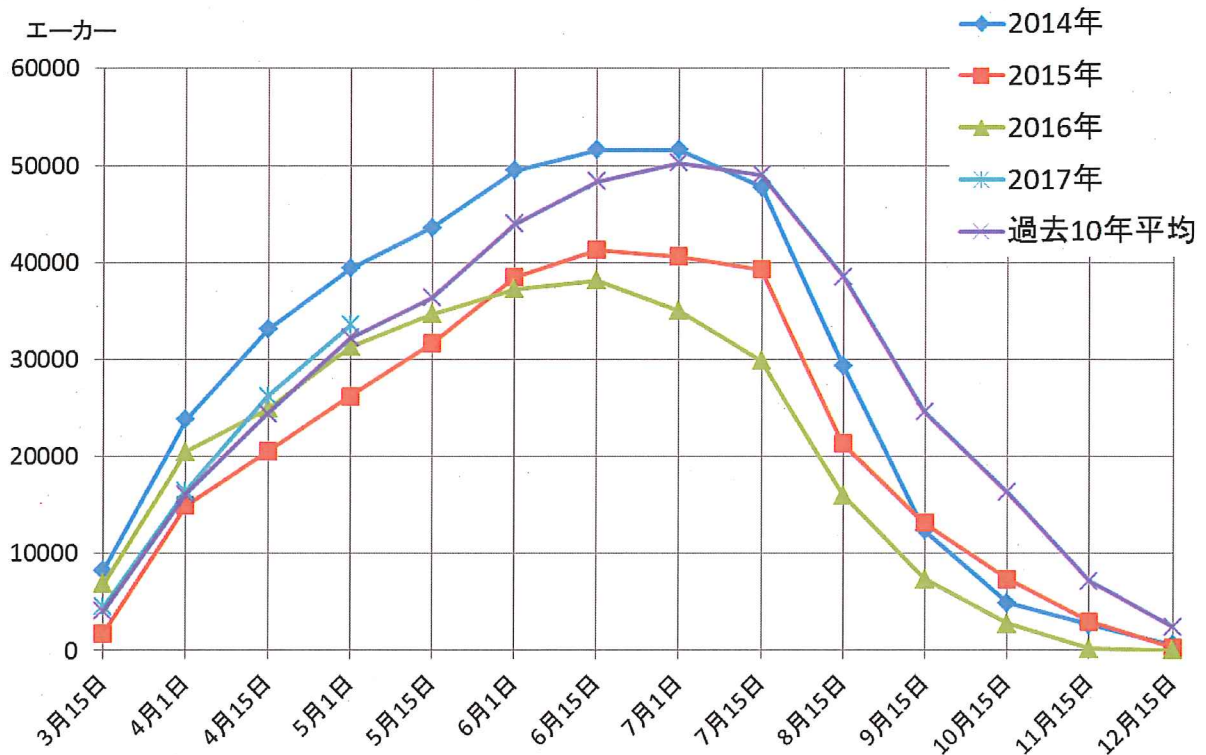
ここ最近気温も上昇しており、刈り取りは例年並みかやや早めにスタートする見込みで、今後の天候次第ではありますが、新穀の船積みは最速で6月上旬から中旬にかけて出荷可能な状況です。

16年産の産地在庫は余剰なく、繰り越し在庫はほとんどないことから、17年産のスタート価格は強含みで展開すると予想されています。繰り越し在庫がない状況のため、日本から実需以上の引き合いが入りやすく、産地相場が過熱しやすい環境でもあることから、無用な価格高騰を抑えるために、産地側・日本側双方の慎重な対応が必要になります。



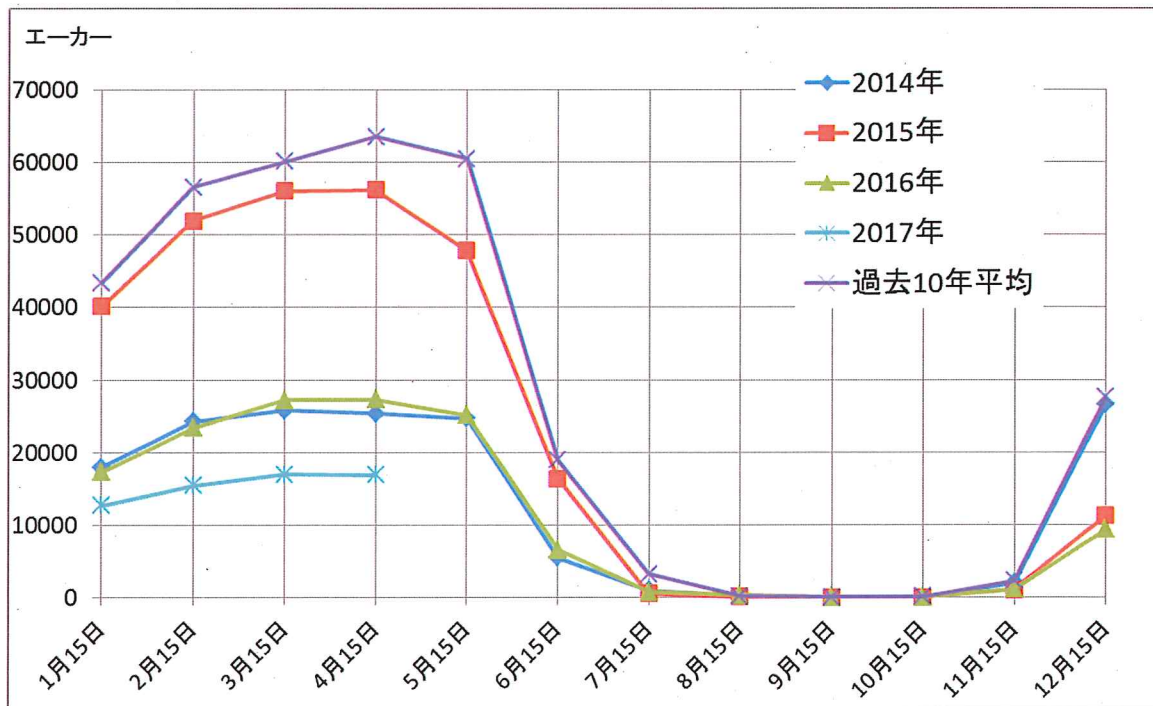


インペリアルバレー スーダングラス圃場（4月下旬撮影）



	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	8236	23795	33118	39364	43597	49495	51586	51594	47756	29337	12376	4879	2646	568
2015年	1752	14942	20561	26214	31644	38502	41260	40633	39247	21329	13150	7345	2998	278
2016年	6874	20497	24929	31326	34651	37268	38130	34990	29859	15979	7335	2784	174	18
2017年	4503	16465	26207	33563										
過去10年平均	4063	16108	24387	32210	36358	43964	48362	50255	49004	38528	24560	16275	7162	2449

インペリアルバレー スーダングラス作付面積（2017年5月1日時点）



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17988	24292	25781	25368	24731	5505	1008	194	147	92	2033	26647
2015年	40158	51951	56068	56252	47848	16399	529	132	86	53	1075	11284
2016年	17328	23379	27258	27308	25107	6565	802	373	45	45	1155	9407
2017年	12733	15443	16988	16913								
過去10年平均	43460	56565	60128	63507	60449	18926	3266	196	53	97	2321	27589

インペリアルバレー 小麦作付面積（2017年4月15日時点）

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

4月15日に発表された17年産の作付面積は前年比16%減となっており、生産量についても作付面積並みの減少が見込まれています。

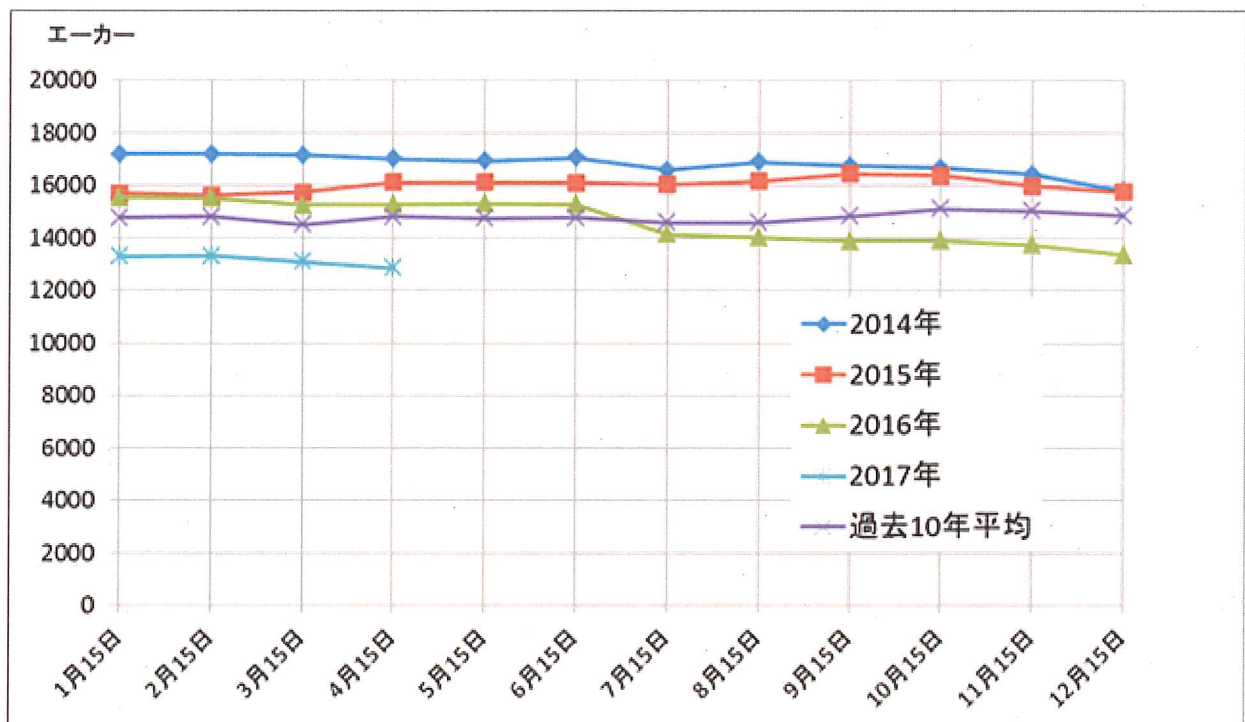
16年産の繰り越し在庫はほぼ無い状況で、新穀まではややタイトな状況が続きます。特に韓国からの需要は引き続き堅調な模様です。新穀の生育状況は良好で例年よりやや早めで、早い圃場では4月中旬から刈り取りを始めたところもあるようです。





クレイングラス圃場（4月下旬撮影）

17年産の産地相場はまだ明らかにはなっていませんが、韓国の堅調な需要、16年産の在庫がなく、作付面積が減少していることから、値上げは不可避な状況です。一方で品質面においては、16年産は相場の低迷より、生産農家の利益は無く、品質を重視する動機が低かったと言えますが、生産農家に利益が残る価格帯になることで、17年産はより安定した品質が期待できる環境になるとも言えます。収穫のスケジュールもやや早めの進捗であることから、今後の天候次第とはいえ、気温が上がり湿度が出る時期までに良品が発生する機会が例年に比べ高まるといった見方もできます。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871	13896	13739	13354
2017年	13276	13296	13092	12846								
過去10年平均	14754	14803	14490	14800	14744	14768	14586	14570	14813	15101	15024	14835

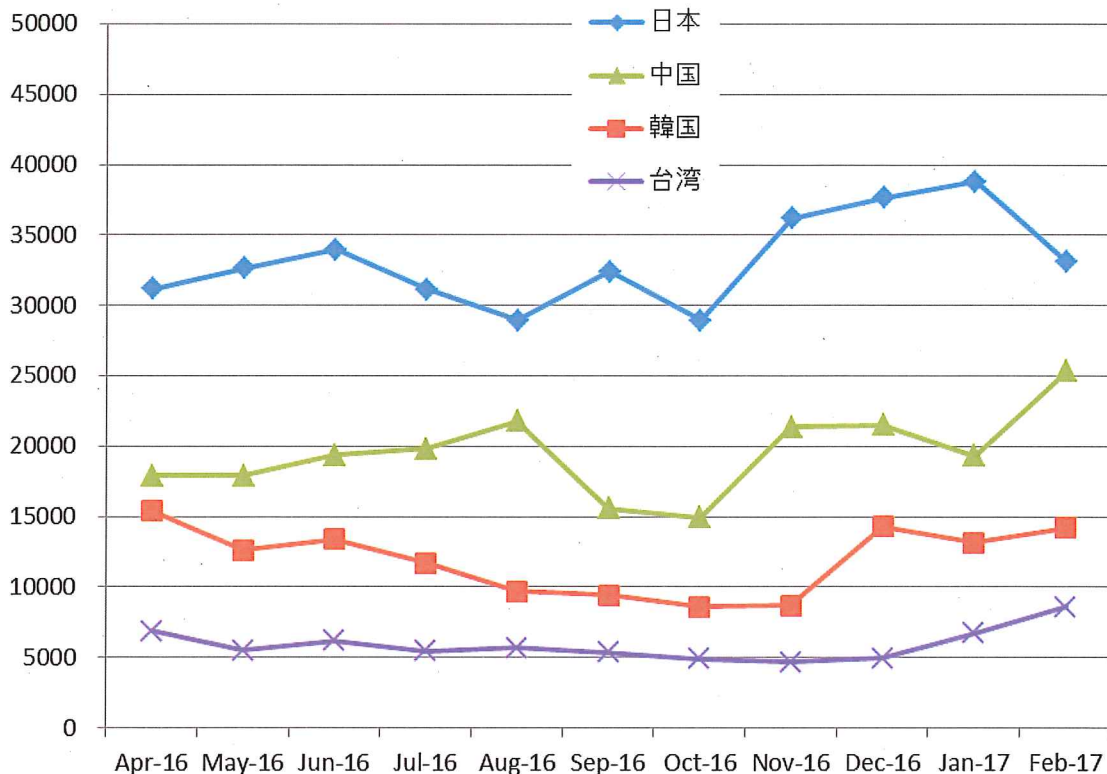
インペリアルバレー クレイングラス作付面積（2017年4月15日時点）

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地オレゴン州ウィラメットバレーでは、新穀の収穫は7月から開始される予定です。16年産の産地在庫の状況は変わらず、ほとんどのサプライヤーで余剰玉はなく出荷可能な在庫は極めて限定的となっています。日本、韓国からの追加買いの問い合わせは続いています。対応は難しく状況は大きく変わっていません。

## 豪州産オーツハイ

2月の豪州からの牧草輸出量は82,359トンと単月過去最高を記録しています。その要因は中国向けで、2月単月では25,340トンとこちらも過去最高の輸出量となっています。加えて、日本向け韓国向けも堅調であることから、各サプライヤーの工場はフル稼働が続いています。



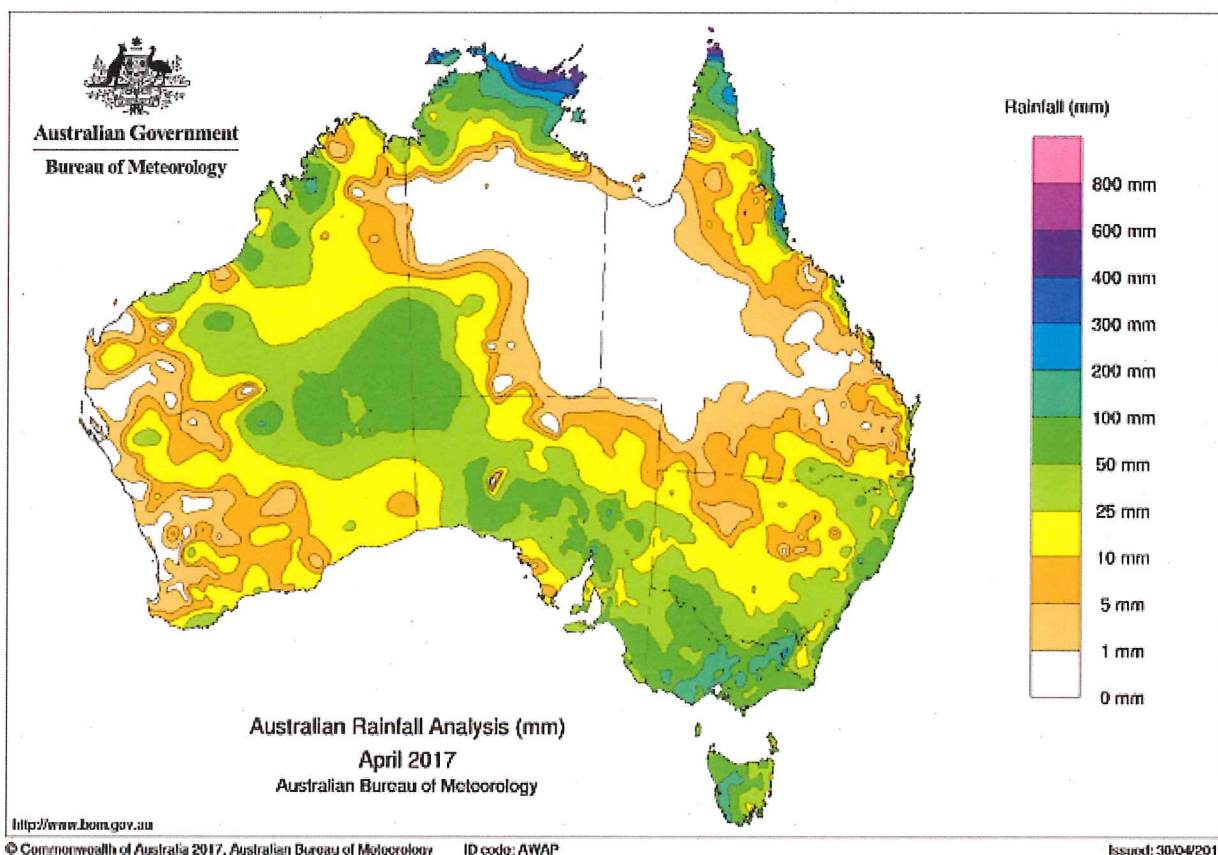


	Apr-16	May-16	Jun-16	Jul-16	Aug-16	Sep-16	Oct-16	Nov-16	Dec-16	Jan-17	Feb-17
合計	72,760	71,160	75,062	69,984	67,969	64,497	59,296	72,440	80,504	80,275	82,359
日本	31,167	32,630	33,951	31,134	28,923	32,401	28,925	36,205	37,655	38,783	33,105
韓国	15,405	12,631	13,381	11,715	9,708	9,399	8,595	8,712	14,323	13,173	14,212
中国	17,912	17,898	19,364	19,814	21,792	15,559	14,929	21,355	21,528	19,316	25,340
台湾	6,857	5,482	6,178	5,451	5,681	5,375	4,918	4,666	4,968	6,751	8,619
その他	1,419	2,519	2,188	1,871	1,865	1,763	1,929	1,502	2,029	2,251	1,083

豪州産牧草輸出数量実績（単位：トン 2016年4月から2017年2月まで）

乾牧草の輸出は活発な状況ですが、豪州経済の減速から、豪州へのコンテナ貨物の輸入が減ってきています。この影響で、西豪州を中心として空コンテナの不足が散見され始めました。西豪州から日本直行の航路はないため、空コンテナの不足が続くと船積みのスケジュールがさらに不安定になりやすく、より一層注意が必要になると思われます。

西豪州、南豪州では1～3月までは降雨が多く、5月から始まる新穀の播種を前に十分な土壌水分があると見込まれていましたが、4月は一転して降雨がほとんどない状況となっています。



豪州気象庁データより引用 4月の降雨量

東豪州は4月以降も例年並みの降雨があり、こちらは順調に作付けが進むと見

込まれていますが、今夏のエルニーニョ現象の発生確率は50%と言われていま  
す。エルニーニョ現象が発生すると、東豪州では早魃傾向になることから、今後  
の播種に向け、その動向が気になるところです。

以 上